

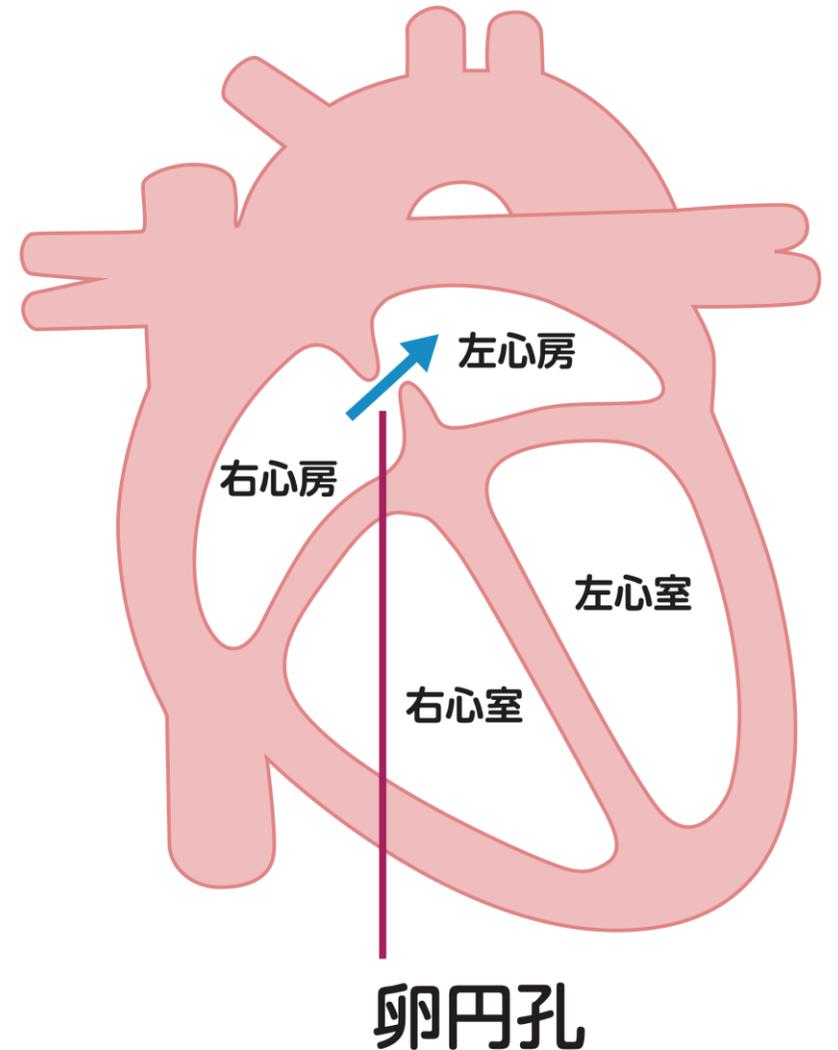
卵円孔開存症に対する カテーテル治療

和歌山県立医科大学 内科学第4講座(循環器内科)

和田 輝明、田中 篤

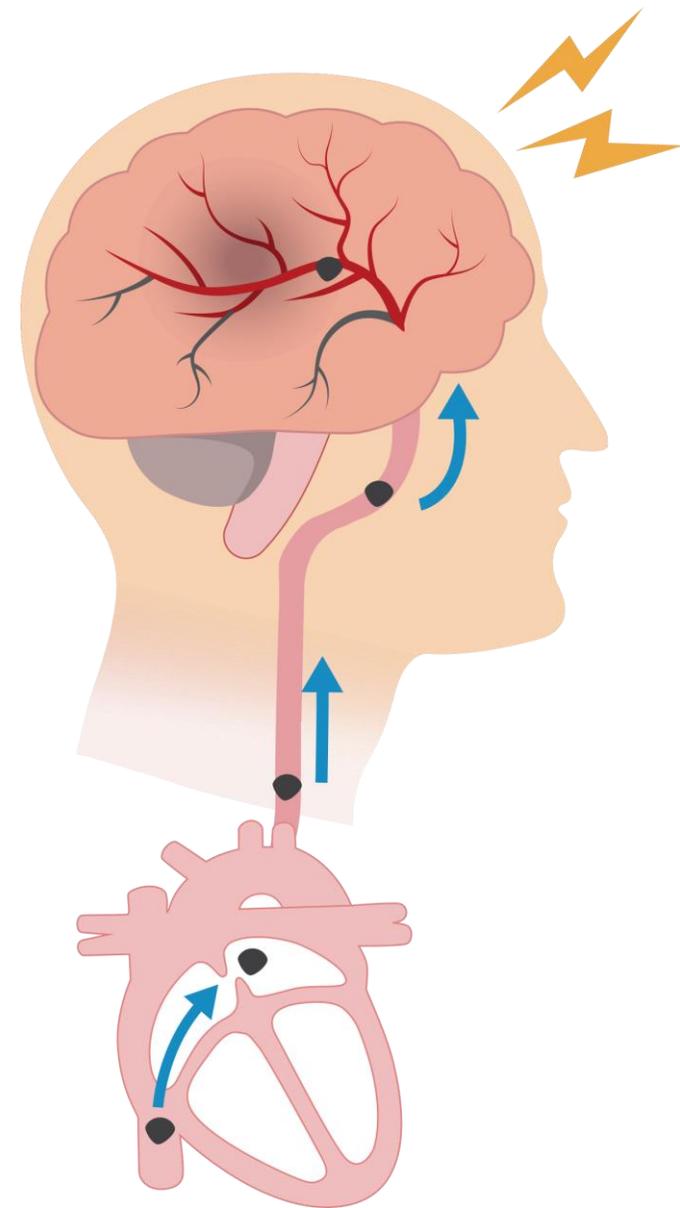
卵円孔開存症(PFO)とは

- 卵円孔とは、右心房と左心房を隔てる壁(心房中隔)の間にある小さな穴の事
- 通常は胎児期(お母さんのお腹にいるとき)は開いている。
- 生後数日で自然に閉鎖するが、成人になっても開存している例が、全人口の約20-30%にみられる。それを卵円孔開存と言う。
- 通常は開存していても問題にならない。

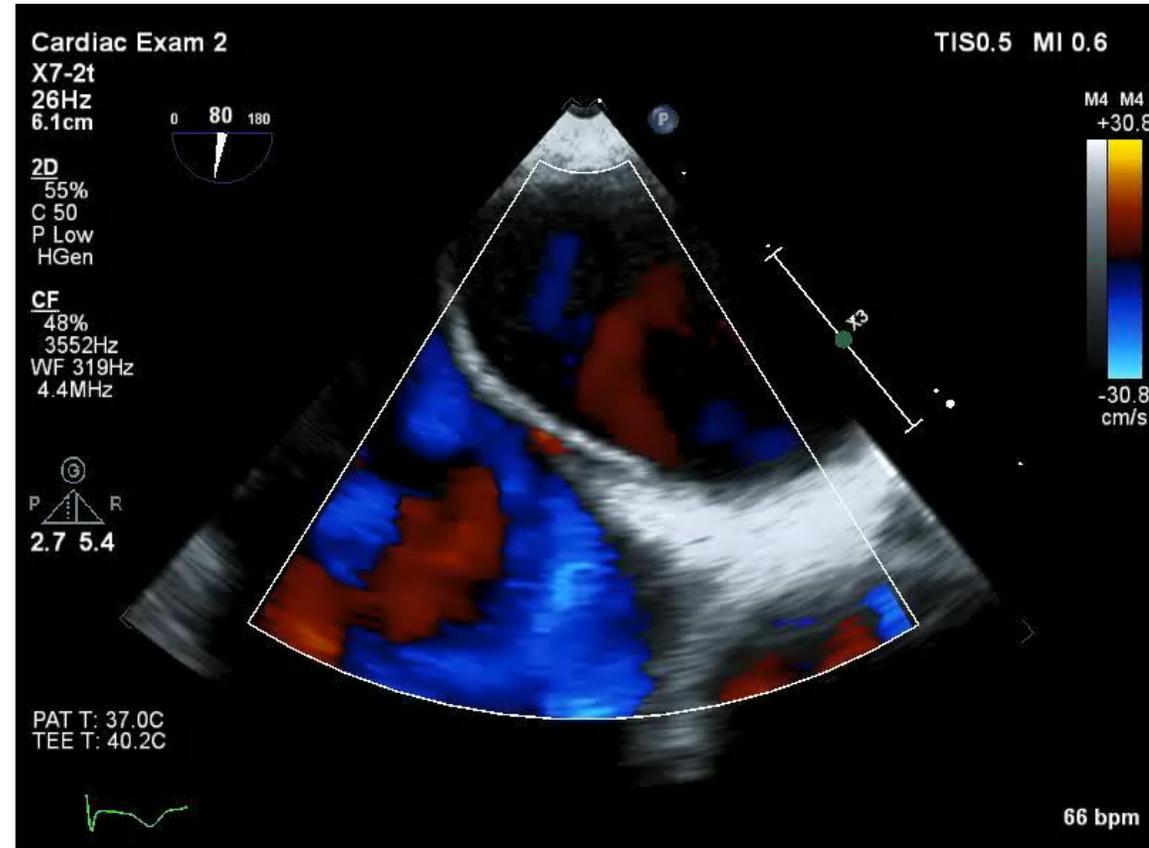


奇異性脳塞栓症とは

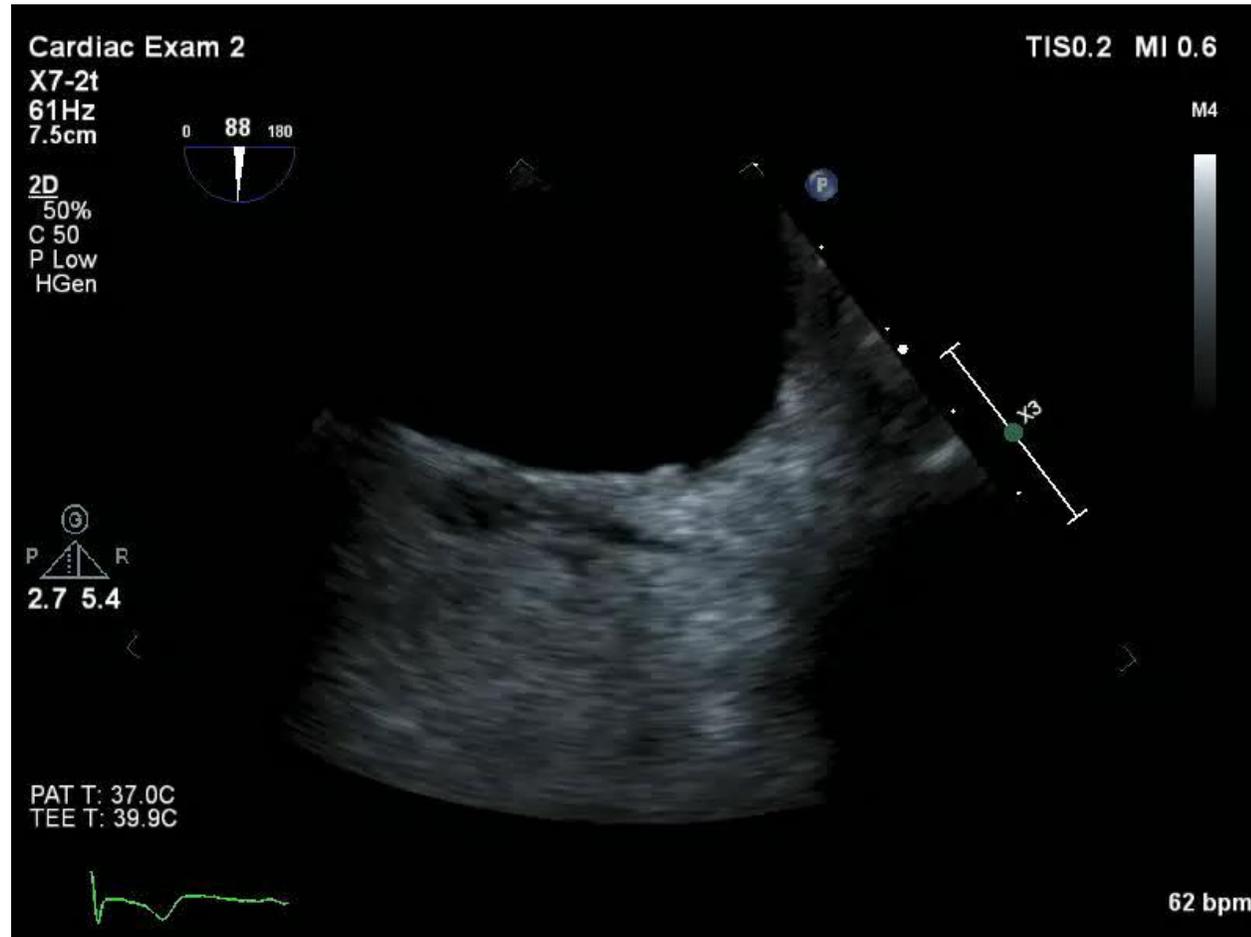
- 奇異性脳塞栓症とは、静脈に出来た血栓が、何らかの理由で動脈に流れ込み、脳梗塞を起こすことをいう。
- まれではあるが、卵円孔を介して、静脈にできた血栓が動脈に流れ込み、奇異性脳塞栓症を起こす。



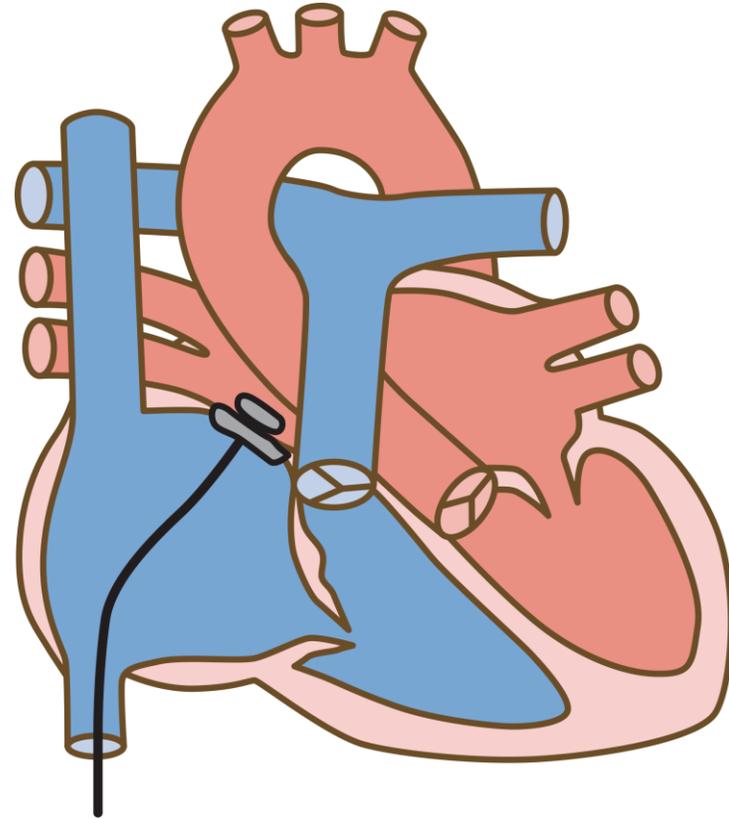
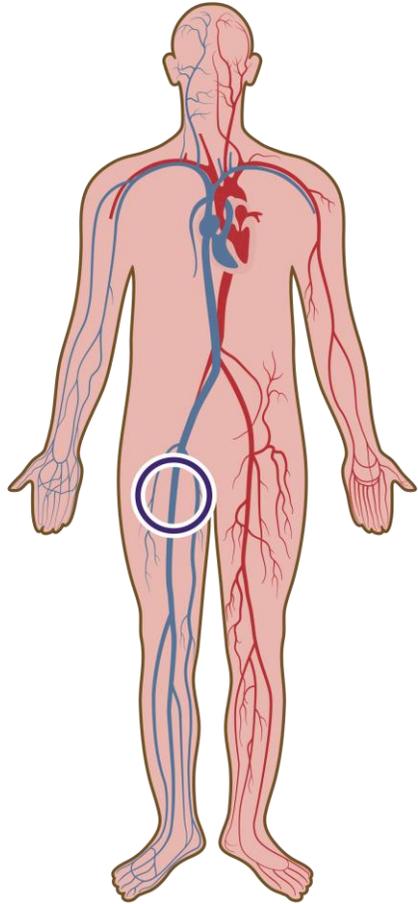
経食道心エコー図による評価



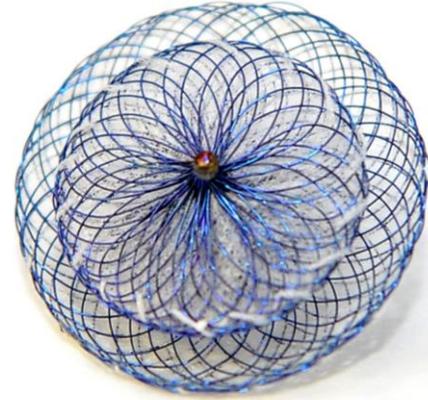
マイクロバブルテスト



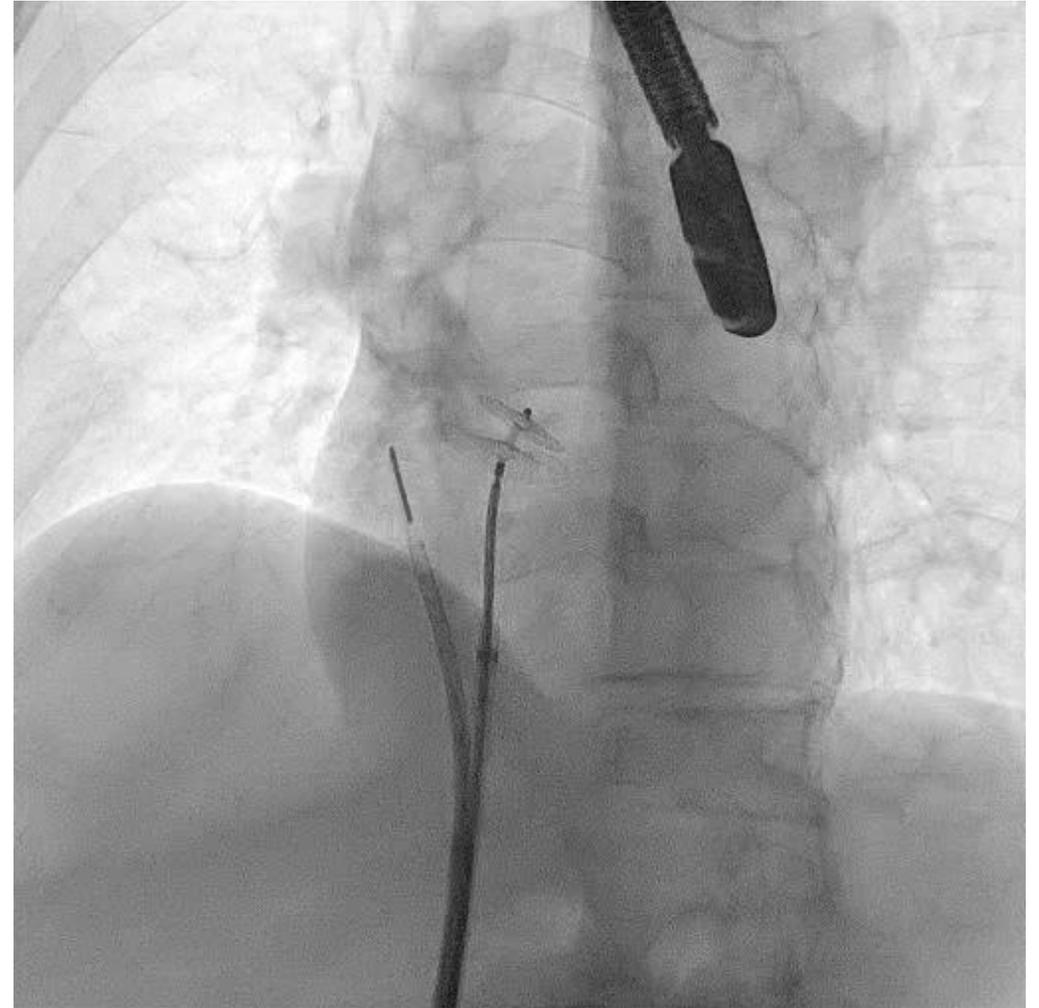
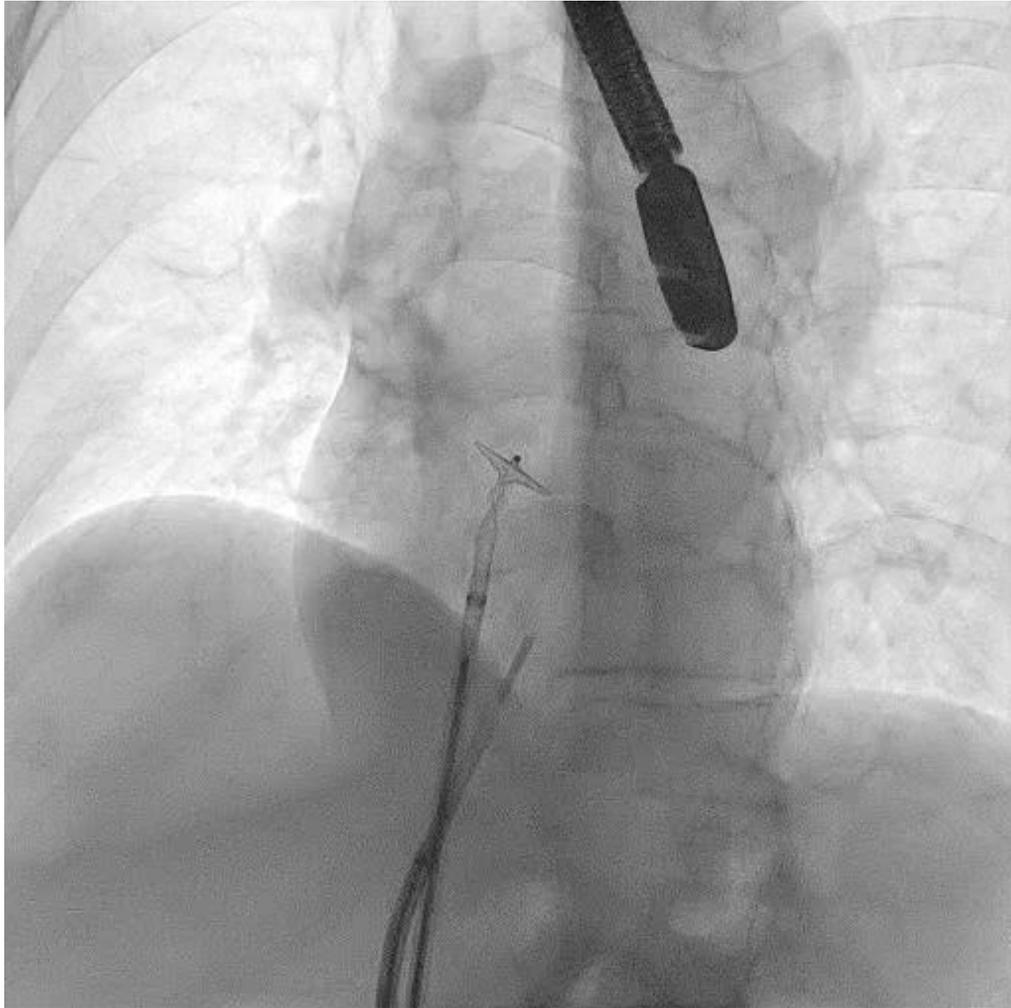
經皮的卵圓孔開存閉鎖術



卵円孔開存閉鎖栓と使用するカテーテル



経皮的卵円孔開存閉鎖術中の風景



結語

- 和歌山県内初となる卵円孔開存症に対するカテーテル閉鎖術(経皮的卵円孔開存閉鎖術)を施行し、術後経過は良好である。
- 本治療は、より体に負担の少ない治療法として、県内での普及が期待される。

